

2010年度

# 安全報告書(2011年)



[蔵王パラダイスペアリフトA・B線山頂駅、眺望は飯豊連峰]

## 蔵王温泉スキー場

普通索道 蔵王スカイケーブル(通年運転)

特殊索道 蔵王パラダイスペアリフトA・B線

蔵王パラダイス第3ペアリフト

ダイヤモンド第1ペアリフト

ダイヤモンド第2ペアリフト

株式会社ヤマコー

## ご 挨拶

はじめに、東日本大震災で被災されました多くの皆様ならびに関係者の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

平素は、蔵王温泉スキー場をご利用いただきまして誠に有難く厚く御礼申し上げます。

さて、蔵王温泉スキー場は豊かな自然環境に恵まれており、世界的に有名な「樹氷」と湯量豊富な温泉および雪質抜群のパウダースノーのゲレンデ、そして、広大なゲレンデをつなぐ41基のロープウェイ・ケーブル・リフトなど、魅力いっぱいのスキー場であります。

その中で弊社索道は、樹氷原に隣接するパラダイスゲレンデ、初・中級者およびファミリー層向けのダイヤモンドゲレンデ・上の台ゲレンデで営業をしております。

また、夏期シーズンの蔵王スカイケーブルは、5月の新緑から、11月の初冠雪・霧氷群の誕生まで、蔵王中央高原・ブナ林のトレッキングおよび「ドッコ沼・不動滝」見学のアクセスとして、多くのお客様からご利用をいただいております。

そのような事業環境の中、索道事業者の最大の使命は「安全輸送の確保」にあります。お客様を安全に、そして快適にご利用いただくため、日常の始業点検をはじめ、春季・秋季の営業運転を休止しての定期整備点検の実施・救助訓練の実施など、安全対策には万全を期しております。

また、お客様の快適な滑走のため、圧雪車によるゲレンデ整備の徹底、ケーブル・リフトの乗降時の安全確認の励行など、再度お越しいただけることを念頭において業務に取り組んでおります。

本報告書は、平成22年度（2010年度）一年間の安全に対する取組みおよび当社索道事業部の事業活動をまとめたものです。

「継続は力なり」と申します。安全に対する取組みは継続して行うものであり、気づいたところから「改善」を図り、安全を最優先する企業文化をつくることが大切であります。

当社に対し、皆様からは是非ご意見ご要望をお寄せくださることをお願い申しあげ、変わらぬご利用ご愛顧の程よろしくお願い申し上げます。

2011年 8月 吉日  
株式会社 ヤマコー  
取締役社長 結城 誠

## 1. 安全基本方針と平成22年度重点目標

### (1) 安全基本方針

当社ではグループ行動基準を定めております。安全・安心そして快適をキーワードに「地域社会への貢献」「顧客満足度の向上」「企業価値の高揚」の3つを掲げ業務に取り組んでおります。

中でも、安全に対する取組みは最優先事項であり、索道事業では次の4つの行動規範を掲げ、輸送の安全確保に努めております。

- ① 私たちは、一致団結して輸送の安全確保に努めます。
- ② 私たちは、輸送の安全に関する法令および安全管理規程をはじめ、関連する規程をよく理解するとともに、これを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- ③ 私たちは、常に輸送の安全の状況を把握し、職務の実施にあたっては、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は、最も安全と思われる取扱いをします。
- ④ 私たちは、事故・災害等が発生した時は、人命救助を最優先に行動し、すみやかに適切な処置をとります。

### (2) 平成22年度重点目標

当社索道事業部では、例年冬期シーズン前に、職場内に設置している「安全衛生委員会」が主体となり、全従業員を対象に標語を募集し、安全に対する意識の高揚を図っております。夏期シーズンにおいても継続して実施し、安全の確保を最優先事項として業務に取り組んでおります。2010～2011の重点目標は下記の通りです。

- ① 「確認を、重ねる毎に、事故は無し」
- ② 「笑顔みせ、襟を正して心も整理、プライド持ったサービスを！」

## 2. 平成22年度事故等発生状況

### (1) 索道運転事故（索道人身傷害事故）

本年度は索道に関係する事故はありませんでした。

### (2) 災害（地震・暴風雨・豪雪等）

災害による運転停止はありませんでした。ただし、安全確保のため、ケーブルおよび各リフトで強風・雷等の発生時に一時運転を見合わせた時間は、下記の通りです。

- ① 延べ日数 24日
- ② 延べ時間 66時間15分

### \* 東日本大震災による休止

3月12日～4月15日（35日間）

(3) インシデント（事故の兆候）

平成22年度のインシデントはありませんでした。引き続き安全への取り組みを強化し、事故防止に努めます。

3. 安全確保への取り組み

(1) 教育訓練

当社では、グループ行動基準を実現するためには、人材育成が重要と位置づけており、社内・社外講習には積極的に参加し、索道技術の習得・向上に努めております。

平成22年度に受講及び教育した内容は下記の通りです。

社 内 教 育			
講 習 名	場 所	実 施 日	受 講 者 数
安全管理規程・他規程等の解説 普通索道運転取扱細則 普通索道係員服務規程	索道営業所	5月6日	15名
普通索道予備原動機操作訓練	スカイケーブル 中央高原駅	12月12日	10名
予備発電機操作訓練	パラダイスリフトAB線	2月21日	12名

社 外 教 育			
講 習 名	場 所	実 施 日	受 講 者 数
テクニカルセミナー	日本ケーブル 本社工場	5月31日 ～6月2日	1名
索道技術研修会 山形地区部会	蔵 王	7月 21・22日	3名
索道技術管理員等研修会 東北索道協会	仙台市	9月 1日・2日	1名
索道技術管理者研修会 東北運輸局	仙台市	9月15日	3名
管理監督者研修会 山形地区部会	山形市	10月29日	2名
雪上車安全運転と救急法 講習会、山形地区部会	蔵 王	11月 25・26日	5名

## (2) 救助訓練

当社では、冬期および夏期シーズンの営業運転開始前に、非常時を想定し、救助訓練等を実施しております。

救 助 訓 練			
講 習 名	場 所	実施日	参加者数
普通索道非常救助訓練	スカイケーブル	5月28日	14名
普通索道・特殊索道 非常救助訓練	索道営業所 (スカイケーブル)	11月17日	31名
特殊索道非常救助訓練	ダイヤモンド リフト	1月31日	7名
特殊索道非常救助訓練	パラダイス リフト	1月15・16日 2月9・10日	12名



〔救助用具・点検〕



〔スカイケーブル・非常救助訓練〕

(3) 安全確保に伴う施策等

当社では、安全確保および設備の維持管理の徹底を目的に、各索道施設毎に整備計画を立て、下記の通り点検・検査・定期整備等を実施しております。

平成22年実施した整備等は下記の通りです。

索道名	設備名 (項目)	整備内容 (実施日)
スカイケーブル	春期定期整備	(22年5月6日～5月28日)
	線路：受索装置	解体検査整備 (受索輪、部品交換)
	保安設備	電磁接触器・継電器交換
	1年検査の実施	
	秋期定期整備	(10月25日～11月18日)
	原動設備	主電動機ベアリング交換
	原動設備：伝達装置	ベベルギヤボックス交換
	保安設備	電磁接触器・継電器交換
	1年検査の実施	
	搬 器 (75台)	(6月10日～11月12日) 握索機解体検査整備 (部品交換含む)
ダイヤモンド 第1ペアリフト	線路：受索装置	受索輪交換(10輪)、
	1年検査の実施	(10月22日・11月10～12日)
ダイヤモンド 第2ペアリフト	線路：受索装置	受索輪交換(7輪)
	1年検査の実施	(6月11～21日・10月14・15日)
パラダイス ペアリフトA線	折返し装置	折返し滑車軸交換、 滑車ゴムライナー交換
	索 条	支えい索交換・緊張索交換
	原動設備：制動機 油圧ユニット	電磁弁交換 (2個)
	保安設備：脱索検出装置	脱検ホルダー交換 (5個)、抵抗器交換
	線路：受索装置	受索輪交換(10輪)
	1年検査の実施	(9月28日・10月23日・11月3日)
パラダイス ペアリフトB線	線路：受索装置	受索輪交換(4輪)
	保安設備：脱索検出装置	脱検ホルダー交換 (6個)、抵抗器交換
	保安設備：制御盤	電磁接触器交換
	搬 器	握索機交換 35台
	1年検査の実施	(9月28日・10月12日)
パラダイス 第3ペアリフト	線路：受索装置	解体検査整備 (6号・7号支柱) (受索輪1個、部品交換)
	1年検査の実施	(9月28日・10月8日)

(5) 安全を確保する日常の点検等

- 始業点呼 : 毎日実施  
始業点検・試運転 : 毎日実施 (但し、定期整備時及びスキーシーズンオフ時のリフトは休止)  
年末年始輸送安全総点検 : 12月10日～1月10日

(6) 内部監査の実施

- 当社監査役(2名)により実施 : 9月30日索道営業所に於いて



内部監査

4. 当社の安全管理体制

当社では、輸送の安全確保のため、安全管理体制の最終責任者を社長とし、以下安全統括管理者、営業所所長、索道技術管理者および索道技術管理員を配置(別表1)しております。各々の役割・責任・権限は下記の通りです。

(1) 役割・責任・権限

- ① 社長 : 輸送の安全確保に関する最終的な責任を負う。  
② 安全統括管理者 : 索道事業全般の輸送の安全確保に関する業務を統括管理する。  
③ 営業所所長 : 安全統括管理者を補佐し、安全輸送の確保に関する業務をはじめ、労働災害、安全衛生管理等に関する業務を統括する。  
④ 索道技術管理者 : 安全統括管理者の指揮の下、索道の運行管理、索道施設の保守管理、その他技術上および係員教育等の事項に関する業務を統括する。  
⑤ 索道技術管理員 : 索道技術管理者の指揮の下、担当する索道の運行管理、索道施設の保守管理、その他技術上の事項に関する業務を管理する。

## 5. ご利用の皆様へ

当社では、索道事業者として、安全の確保は当然の義務であり責任であるという考えから、「安全管理規程」の制定後、まず取組を強化したことは、現場重視の姿勢であります。

次年度に向けた課題は、事故の絶無を期して、現場はもちろんであります、安全に対する意識のたかまりを全社・全グループで共有する仕組みを構築し、実行することです。

そのためには人材の育成が大切であり、社員教育および日々の業務を通じて「輸送の安全の確保」の重要性を強調してまいります。

### 当社イベント

「コタン・スノーパーク」

パラダイス・コタンゲレンデにおいて、中級者以上を対象に、キッカー・テーブルトップ・レール等のアイテムを設置しております。



## 6. ご連絡先

本報告書についてのご感想、当社へのご意見・ご要望は下記まで連絡くださるようお願い申し上げます。

〒990-2301 山形市蔵王温泉794

株式会社ヤマコー 索道事業部

(蔵王スカイケーブル)

TEL 023 (694) 9420

FAX 023 (694) 9106

E-mail [sky-c@yamako.co.jp](mailto:sky-c@yamako.co.jp)

## ユトリアグループ行動基準

1. 私たちは、ひとつひとつの出会いを大切にし、豊かなくらしと魅力ある地域づくりに貢献します。

地域社会への貢献

2. 私たちは、お客様の声に耳を傾け、安心と満足を提供します。

顧客満足度の向上

3. 私たちは、時代の変化に適応し、未来に挑戦しつづけます。

企業価値の高揚



〔錦秋の蔵王スカイケーブル〕